



令和8年3月12日

報道機関各位

熊本大学

## 熊本大学病院における進行性前立腺がんに対する PSMA 標的ラジオセラノティクス<sup>(※<sup>1</sup>)</sup>の実施について

熊本大学病院では、県内で初めて前立腺がんに対する PSMA 標的 PET 検査<sup>(※<sup>2</sup>)</sup>及び PSMA 標的核医学治療<sup>(※<sup>3</sup>)</sup>を開始いたしました。全国でも県内でも男性の部位別がん罹患率第一位である前立腺がん医療の新たな選択肢となる意義深い取り組みであり、今後の地域医療への貢献が期待されます。

つきましては、当内容に関する記者発表会を開催しますので、当日の取材方、よろしくお願いいたします。

【日 時】令和8年3月25日（水）15：00～16：00

【場 所】熊本大学病院管理棟3階第一会議室（熊本市中央区本荘1丁目1番1号）

【出席者】熊本大学病院長 平井 俊範

熊本大学病院泌尿器科 教授 神波 大己

熊本大学病院画像診断・治療科 講師 白石 慎哉

熊本大学病院泌尿器科 助教 倉橋 竜磨

【備 考】取材いただける場合は、別紙にご記入のうえ、下記担当まで FAX またはメールで事前にご連絡をお願いします。また、当日は14：30に熊本大学病院管理棟正面玄関前にお越しいただくようお願いいたします。

### ※<sup>1</sup> ラジオセラノティクスについて

セラノティクスとは治療（Therapy）と診断技術（Diagnostics）を組み合わせた医療概念で、同じ分子標的を使って診断し、その結果に基づいて治療まで行う個別化医療を指します。放射性医薬品を用いる場合、ラジオセラノティクスと呼びます。

### ※<sup>2</sup> PSMA 標的 PET 検査について

前立腺がん細胞に多く発現する「PSMA（前立腺特異的膜抗原）」を標的とする診断用の放射線医薬品 <sup>68</sup>Ga-PSMA-11 を投与して PET（陽電子放出断層撮影）検査を行うことで、従来の CT や MRI では検出が難しかった前立腺がんの小さな再発や転移病変を高い精度で可視化することができます。

### ※<sup>3</sup> PSMA 標的核医学治療について

PSMA 陽性の転移性去勢抵抗性前立腺がん（mCRPC）に対し、治療用の放射線医薬品 <sup>177</sup>Lu-PSMA-617 を投与し、前立腺がん細胞を特異的に殺傷する最先端の治療法です。2025 年 11 月に国内でも保険診療として利用が開始され、新たな治療の選択肢として期待されています。

#### **【お問い合わせ先】**

熊本大学病院事務部総務課総務担当

担当：吉岡、嶋田 TEL：096-373-5904

# 【連絡票】

熊本大学病院における進行性前立腺がんに対する  
PSMA 標的ラジオセラノティクスの実施について

【日 時】令和8年3月25日（水）15：00～16：00

【場 所】熊本大学病院管理棟3階第一会議室

（本荘北キャンパス：熊本市中央区本荘1丁目1番1号）

貴社名	
回答者	TEL FAX
出席	出席します。 ( 名)

※恐れ入りますが準備の都合上、3月19日（木）までにご返信いただきますようお願い  
します。

※来場時にお名刺をご提出ください。

熊本大学病院事務部 総務課総務担当

※下記メールアドレス宛またはFAXにてご返信ください。

メール：iys-somu@jimu.kumamoto-u.ac.jp FAX：096-373-5906

熊本大学病院(本荘北キャンパス)  
熊本市中央区本荘1丁目1番1号



取材いただける場合は  
3/25 (水) 14:30 に管理棟玄関前  
にお越しください。